【SR-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン
対象	がん患者
介入	PICCの留置
対照	CVの留置

＊バイアスリスク，非直接性
　各ドメインの評価は「高（−2）」，「中／疑い（−1）」，「低（0）」の3 段階。
　まとめは「高（−2）」，「中（−1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
　各項目の評価は「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階。
　まとめは「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

エビデンス総体

アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊上昇要因（観察研究）	リスク人数（アウトカム率） 対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95%信頼区間	＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊重要性	コメント
デバイス留置後の合併症(感染、血栓、血管外漏出)	RCT/1	-1	0	-1	-1	-1	0	47	23	48.9	46	6	13	相対リスク	0.27	0.12–0.59	中（B）	7	
デバイス留置後の感染	RCT/1	-1	0	-1	-1	-1	0	47	11	23.4	46	2	4.3	相対リスク	0.18	0.04–0.79	中（B）	7	
デバイス留置後の血栓	RCT/1	-1	0	-1	-1	-1	0	47	12	25	46	4	8.7	相対リスク	0.34	0.12–0.98	中（B）	7	
デバイスfailure(閉塞、感染、抜去など)	RCT/1	-1	0	-1	-1	-1	0	47	16	34	46	6	13	相対リスク	0.38	0.16–0.89	中（B）	9	デバイスfailure=デバイス抜去との認識

コメント（該当するセルに記入）

		非盲検化FASと考えられる	文献は一つ	試験が一つしかないサンプルサ	AMLのみが対象対象の100%	イベントの重複状況が読み取れな												
		非盲検化FASと考えられる	文献は一つ	試験が一つしかないサンプルサ	AMLのみが対象対象の100%	イベントの重複状況が読み取れな												
		非盲検化FASと考えられる	文献は一つ	試験が一つしかないサンプルサ	AMLのみが対象対象の100%	イベントの重複状況が読み取れな												
		非盲検化FASと考えられる	文献は一つ	試験が一つしかないサンプルサ	AMLのみが対象対象の100%	イベントの重複状況が読み取れな			デバイスを抜去した人数を分子に			デバイスを抜去した人数を分子に						